

# いつもの顔が地域を守る 消防団

普段は本業を持ちながら、有事の際にいち早く駆けつけ、消火、避難誘導などの活動を する消防団。令和6年能登半島地震や火災現場でも消防団が活躍し、重要な役割を果たし ています。市内には126人の団員が6つの分団に配属されて活動しています。



### 今年4月に入団した樋口正導さん。普段は製作所で働きながら、地域 のために消防団の活動に踏み出しました。

父が元団員で、私も地域の力になりたいと思い入団しました。消防 団は厳しいイメージがありましたが、入ってみると、先輩が声をかけ てくれたり、操法をやさしく教えてくれました。先輩とのコミュニケー ションや団体行動を通して、チームワークの大切さを改めて感じまし た。本業は個人作業が多いですが、会社の結束力を高めることにも活





東松山市での災害ボランティア活動参加がきっかけで、北本市の女性 消防団員発足メンバーの一人として入団した内田有美さん。ピアニス トのかたわら多面的な視点で消防団活動に取り組んでいます。

地域向けの AED 講習などに力を入れています。受講者が安心して 質問もしやすいように、会話で雰囲気を和ませながらその人に合った 防災対策を伝えるようにしています。自治会のお祭りで防災講座をし た時には、子どもからもたくさんの質問をもらいました。消防団や防 災が身近になるように、地域と連携する機会を増やしていきたいです。





入団歴 29年。農業を営みながら分団長を務める山本浩之さん。長年 の活動から見えたものは、人とのつながりでした。

つながりって大切なんだな。冬の夜に起きた火災現場では、朝まで 消火活動をしました。現場近くに住む方が、団員に夜食やトイレの提 供、暖を取らせてくれたおかげで活動がはかどりました。

地域の人には、夜警巡回時に顔を出してくれたり、「子どもに手が かからなくなったら入団したい」と言ってくれる人もいます。地域と つながりながら、地域のために活動していきたいですね。



興味のある人は、くらし安全課危 機管理・消防防災担当(☎594-5523) までご連絡ください。

圆総合公園

# 11/16(日) 防災訓練&消防団特別点検

大人から子どもまで"楽しくてためになる"一日です。全国で地震や大雨が多発している今日 この頃、自宅や地域の防災対策と備えについて、一緒に考えてみませんか?

### 防災訓練▶9:30~12:30



#### 主な内容

- ●地震体験車
- ●防災グッズの展示 ●子ども放水体験 ●救急救命・AED 訓練
- ●炊き出し訓練 ●イツモ防災体験 など



①今年は地震体験車も参 加/②自衛隊、武蔵丘短 期大学が行う炊き出しカ レー / ③子ども放水体験 / ④災害時に活躍する車 両の見学・記念撮影

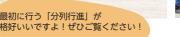


体験・訓練でスタンプ を集めて、炊き出し カレーと引き換え!

## 消防団特別点検▶8:20~10:30

※8:15 にサイレン吹鳴を放送します 消防団では、災害に迅速に対応する準備ができているか 毎年点検します。限られた時間で訓練を重ね、培ってきた 規律正しい操法・部隊行動等の様子をぜひご覧ください。







最新情報・駐車場情報



## うか。今回は、地域で日頃から防災に取り組む皆さん にお話を伺いました。取材で見えてきたのは、「いつも」 の中にあるつながりでした。 地域の祭りも防災力を高める場に

などの機材も購入することができます。

私たちのまちでも、大きな災害が起きる可能性があり

ます。「その時」が来る前に私たちは何ができるでしょ

# 東間 1・2・3・4 丁目の自主防災会

北本市には111の自治会があり、そのうち71自治会が自主防災組織を設立しています。自主防災組織とは、防災訓練や

初期消火、避難誘導、避難所運営などを地域の人々が協力して自主的に行う団体です 東間1・2・3・4丁目の各自治会では、平成29年・30年 に自主防災会を設立し、浅間会館を拠点に合同で活動しています。

年1回の合同防災訓練では、タオル掲示や住宅地図を活用した 安否確認訓練を重点的に実施しています。昨年からは消防署の職 員を招き、AED 講習も始めました。

これにより、補助金もまとまった額が活用でき、テントや発電機

取材した10月4日は、地域の秋祭り当日。「祭りの一部とし て市役所の出前防災講座を開催するんです。祭りに使うテントや 投光器などは、災害時に使うものを倉庫から出して、みんなで組 み立てて準備します」と黒澤さんは話します。普段から機材の保 管場所や使い方に慣れるようにしているんですね。「夏休み期間





びを地域のみんなでしています。自治会員以外の人も参加しや すい行事を通じて顔の見える関係づくりをすることで、災害時 も助け合えるように交流の場を作っています」と内田さんは話し ます。取材中も、お祭りの様子を伺っていた外国人夫婦に手招き する姿が印象的でした。「子どもを巻き込んだ行事だと多くの 人が参加しやすいですね。今までは自治会に関わる人の参加が 多かったですが、最近は転入してきた若いお父さんが防災訓練 に参加してくれて嬉しかったです」と谷口さんは話します。防 災に強いまちづくりに関心のある若い人が増えてきていると自 主防災会の皆さんは感じています。

☑ 自宅等での備えを確認しよう

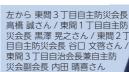
ホームページでチェック!

在宅避難もできるように、食品類、防災用品の備蓄や

家具の固定をしましょう。詳細は埼玉県「イツモ防災」

は、近くのボーリング場の駐車場を借りて、ラジオ体操や縄と

問くらし安全課危機管理・消防防災担当(☎594-5523)





#### 防災チェック! 地域を知り、自分でも備えよう!

防災力を高める基本は、自ら備えること。発災時には、まず自分が無事で、その後も生き延びていく備えがあることが重要です。

### ☑ 地域の災害を知ろう



自宅等は地震や洪水の被害を受けやすいのか防災マップで 確認しましょう。防災マップは広報きたもと7月号と同時 配布しており、QRコードからもご覧になれます。また、 防災情報を入手できるように、防災アプリや北本メールの



▲防災アプリ



上下水道や物流などの ライフラインが止まる 可能性もあります! 備蓄は基本です!

▲埼玉県 「イツモ防災」

▲防災マップ等 (Yahoo! 防災速報)

▲北本メール

広報きたもと No.1053